

Minami Kyushu University Syllabus

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2024年度	開講キャンパス	宮崎キャンパス	開設学科	管理栄養学科／食品開発科学科				
科目名称	教育心理学				授業形態	講義			
科目コード	410410	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	
担当教員名	松元 大地							ICT活 用	○
授業概要	<p>この講義は、教育心理学の理論や知識を深く理解することで、教育現場での問題への批評的な視点を養い、将来教育分野で働く際に役立つ基本的な実践能力を養成することを目指しています。授業では、教育における「問い」に対して心理学的な見方でアプローチする方法として教育心理学を定義し、これまでに蓄積された知識や理論を「学習」と「教育の実際」の観点から説明します。講師は公認心理師として心理支援業務に従事しています。講義内で現場の実際について触れます。</p>								
関連する科目	「心理学」								
授業の進め方 と方法	講義は毎回PowerPointを用いて行います。講義の最後にGoogleフォームから質問や感想を入力することができます。								
授業計画 【第1回】	教育心理学の考え方 学びと適応を支える、成熟論的アプローチ、行動主義的アプローチ、構成主義的アプローチなどについて学びます。								
授業計画 【第2回】	学びの場とその移行 学びの連続性、生活の中での学び、遊びを通じた学び、学びの基本などについて学びます。								
授業計画 【第3回】	学びの理解①学びの意欲 動機づけ、内発的動機づけ、原因帰属、学習された無力感、自己効力感、学習目標などについて学びます。								
授業計画 【第4回】	学びの理解②学びの仕組み 記憶のメカニズム、知識、作業記憶、メタ認知、実行機能、問題解決のモデルなどについて学びます。								
授業計画 【第5回】	学びの理解③学びの諸相 リテラシー、文章読解、文章産出、計数、初期算数などについて学びます。								
授業計画 【第6回】	学びの支援①学びの開発と体系化 授業過程、授業づくり、カリキュラム、カリキュラム開発と計画などについて学びます。								
授業計画 【第7回】	学びの支援②主体的な学びの授業 発見学習、有意味受容学習、仮説実験授業、協同学習、プロジェクト学習などについて学びます。								
授業計画 【第8回】	学びの支援③個に応じた学びの援助 プログラム学習、完全習得学習、習熟度別学習と小集団学習、チーム・ティーチングなどについて学びます。								
授業計画 【第9回】	適応の理解と支援①自立と社会性の学び 虐待、虐待を防ぐ、幼児・児童の仲間関係、生徒の仲間関係、性意識と性の受容などについて学びます。								
授業計画 【第10回】	適応の理解と支援①自立と社会性の学び 部活動、行動の善し悪しと思いやり、自我同一性の確立、キャリア教育、学習集団とその構造などについて学びます。								

授業計画【第11回】	適応の支援と理解②子どもを支える いじめ、不登校、摂食症、非行、限局性学習症、注意欠如・多動症、自閉スペクトラム症などについて学びます。
授業計画【第12回】	適応の支援と理解②子どもを支える 精神疾患、格差と貧困、生徒指導と教育相談、アセスメントと援助チームなどについて学びます。
授業計画【第13回】	適応の理解と支援 観察、評価、テスト、学力、関心・意欲の評価、ポートフォリオとドキュメンテーションなどについて学びます。
授業計画【第14回】	教師の成長① 教師の役割、反省的実践家としての教師、正統的周辺参加、実践研究などについて学びます。
授業計画【第15回】	教師の成長② アクションリサーチ、教師のビリーフ、教師の認知的枠組み、教師の人間関係、教師の精神衛生などについて学びます。
授業の到達目標	この講義では、教育心理学の基本理論やアプローチについての深い理解を目指し、学びと教育実践における様々な局面や課題に関する知識を拡大します。加えて、動機づけ、記憶のメカニズム、リテラシーの発達など学習プロセスの理論、学びの場の多様性、個別化された教育支援方法、子どもの社会的・精神的適応を支援する技術、教育評価の手法、そして教師の自己成長に至るまで、幅広いテーマを通じて、問題解決能力や批判的思考能力の養成を図ります。
学位授与の方針(DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)
授業時間外学習【予習】	指定したテキストを事前に読み、次回の講義内容を把握しておいてください(約1時間)。
授業時間外学習【復習】	講義で触れた該当箇所を再度読み、キーワードを確認しておいてください(約1時間)。
課題に対するフィードバック	定期試験は試験後に解説します。
評価方法・基準	以下の項目に基づいて評価します。 定期試験：100点
テキスト	中澤潤. (2022). よくわかる教育心理学[第2版].
参考書	講義内で関連のある書籍や論文を紹介することがあります。
備考	